



# 春夏秋冬

2026  
vol.41  
季刊発行

## eco 情報



### 内窓・プラマードU

寒さの原因はほとんど「窓」だから空気層と樹脂フレームで窓からの温度の影響を遮断。暖房費が節約でき、結露も抑え、防音効果もあります。

## ワン      ジャ 王家      菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.041 「水餃子」 中国の新年といえば餃子です。「餃子」の文字の中に「交」があるので新旧が交わるということで新年は家族みんなで餃子造りをします。



#### ● 材料（30個分）

手作り皮	30枚
豚ひき肉	250g
ニラ	1束
エビ	50g
卵	2ヶ
塩	少々
調味料	少々
ごま油	少々

#### ● 作り方

- 1, 皮を手造りする
  - 2, ニラをみじん切りし、ひき肉を加えよく混ぜる
  - 3, 卵をたっぷりの油で、ふわふわに炒める
  - 4, ニラ、ひき肉にふわふわ卵を加え、塩、調味料、ごま油、水を加えよくかき混ぜる
  - 5, 皮にネタを包む
  - 6, 沸騰したお湯に餃子を入れ浮いてくるまで茹でる
- ふわふわ卵を加えることで食感がよくなり子供でも食べやすくなります。

## 編集後記

新しい一年が始まりました。

昨年一年を振り返り帰ったとき印象に残るのは気象

変動に代表される環境ではないでしょうか。世界中

で暑さがクローズアップされました。

今年は家の中の環境を見直していきたいと思います。

### ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設  
羽生市中央2-6-3    info@e-hous.co.jp  
☎048-561-6878    編集長：中田 新一



● web もご覧下さい  
<http://www.e-hous.co.jp/>

## 新年あけまして おめでとう ございます。

昨年の夏は長くとても暑かった。冬は冬で、やはり寒い。朝晩の寒さは異常だ。

夏暑く冬寒い中を快適に過ごすには、家を間取りだけでなく快適に過ごすための工夫が必要です。寒さは主に窓ガラス、床下、屋根、壁からやってきます。窓の内窓などは比較的簡単に対応できます。

冬の体感フェアを開催しますので、寒い冬を乗り切る知恵を学びに来てください。お待ちしております。



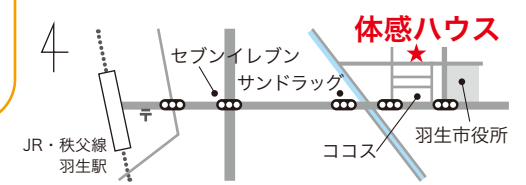
### お知らせ

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

## 「冬の体感フェア」 開催!!

令和8年  
1月10日(土)・11日(日)  
——午前10時から午後4時——

この機会にぜひ冬暖かい外断熱をご体感ください。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123



## OB report 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけないと思います。



### Y邸 築150年古民家再生



最初、お客様から夫婦二人で住める小さな家を建てたいという、お話があり母の土地が広いので、その一角に建てたいと。家の間取りは、敷地の中にどう配置するかで決まります。そこでまず、お母様の敷地のチェックのために伺ってびっくり、敷地は1000坪3300㎡、中央に100坪の庄屋。屋敷柱、梁、床板、敷居は檜材。この敷地の一角に小住宅を建てることは可能ですが私が家造りを考えた時、素晴らしい材料で造られた庄屋屋敷を二世帯住宅に再生した方が良いと思い、お客様に提案しました。



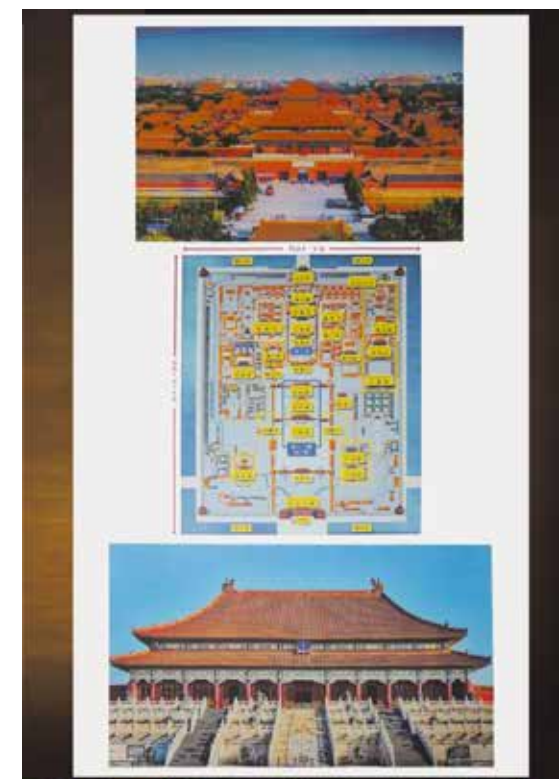
古民家の場合、古いので水回り電気配線は安全のため全部やり替える、主要な柱、梁は動かさないということで工事スタート。コンクリートの存在しない時代の基礎は、玉石を敷いて木材の土台を敷いていた、まるで土の上に木材が並んでいるような風景にびっくり。床、壁、天井を開けながら、その都度対応を決め、見えないところに鉄骨梁を入れ床下も鋼製束で補強を行い、撤去した床板は削り直して外壁に再利用。違和感が生じないように一步一步施工していきます。

続きは次号で！



## 地域の交流

### 「故宮博物院」



清朝の紫禁城から北京博物院へ

清朝の滅亡により紫禁城は国民政府が接收その後、満州事変により重要な文物は箱詰めし上海にそして南京、成都へ終戦後は国共内戦により最も優れた逸品を選び台湾へ移すことを決定1965年8月台北に国立故宮博物院が落成さすがに建物は持ってこれなかったので建物の北京中身の台北といわれています。展示は書道、名画、銅器、刺繍、磁器、玉器、珍玩、図書、文献等が部屋ごとに展示されています。所蔵品が多いため、毎回展示内容が変わっていて飽きません。日本語ガイドのイヤホンもあります。売店もレプリカの書画がたくさんありレベルの高さに思わず買ってしまう。



## 匠の知恵

### 「レーザーレベル」

建築の仕事では、昔から水平、垂直が一番大切と言われています。床が平らなこと、柱が垂直に立っていること当たり前のことです。昔の人は水盛管と言って管に水を入れ中の空気によって水平、垂直を出しました。今は機械から水平、垂直方向に光線が出て簡単にチェックが出来ます。

